

2022年10月ドミニカ(共)内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

1 内政

(1) 4日、当国政府は「官僚主義ゼロ」計画を発表し、国民に対するサービス向上のため保健、ビジネス、建設等の分野において手続きをデジタル化し合理化する旨発表。

(2) 5日付「エル・カリベ」紙は、マルティネス・サンティアゴ市長のインタビュー記事を掲載。16日に予定される同党の大統領候補選出協議に勝利すると宣言。

(3) 20日、アビナデル大統領は、ポロリカシュヴィリ国連世界観光機関事務局長と会談し、米国との航空自由化協定等について協議。

2 外交

(1) 3日、当地韓国大使館は、同国の建国記念日及びドミニカ(共)との外交関係樹立60周年に際し記念式典を開催。Lee Inho 当地韓国大使は、アビナデル大統領に対し、二国間の「自由貿易協定」を提案。

(2) 3日、当地米国大使館は、米国国際開発庁(USAID)を通じ、ドミニカ(共)の食糧安全保障を支援し、化学肥料の使用を削減するため300万米ドルを提供すると発表。

(3) 17日、アルバレス外相は、国連安全保障理事会の特別会合にて、ハイチ情勢に関する演説を行い、ハイチの人道的・治安的危機は前例のないものであり、緊急性をもって対応すべき旨発言。

(4) 24日付「オイ」紙は、経済関係、経済協力、スポーツ交流、日系社会等に関する高木大使のインタビュー記事を掲載。

(5) 30日、ドミニカ(共)政府は、大統領府声明を通じ、ブラジル大統領選挙におけるルーラ候補の勝利に対する、アビナデル大統領による祝意を公表。

3 経済

(1) 11日、大統領府は、プレスリリースにて、旧市街地の道路改修工事の開始を発表。塗装、歩道、電線地中化等が含まれる。

(2) 18日、アルモンテ・エネルギー・鉱山大臣は、アメリカ大陸経済省年次会議(CAMMA)に出席し、金を中心に主要輸出品目産出する鉱山が、雇用創出及び地域経済に貢献していると強調。

(3) 26日、スペインとドミニカ(共)の間で開催されたビジネス会議にて、アビナデル大統領は、スペイン投資家にとって当国は物流とビジネスのハブであると発言。エルナンデス当地スペイン大使は、二国間の関係は良好であり、さらに高いレベルを目指すための環境が整備されていると強調。